

バレンタイン 笑いと嘆き

大分三好戦の日曜日（14日）はバレンタインデー。試合後の控室に並べられたチョコレートの数々に、思わず「ここはアイドル事務所か」と驚きの声が出た。

それを見たエドガー選手が「西（知恵選手）や（井上）航（選手）は全然スパイクを決めないのに、こんなにたくさんプレゼントをもらっている。それなのに俺はどんなに点を決めても何ももらえない」と、いじけていた姿がかわいらしかった。

私が「確か昨日はトムにも差し入れがあったはずだけど」と言うと、エドガー選手は「そうだな。コロナで何

が残念ながら、ファンに直接会ってお礼を言えないことだな」と頭を振りながら語った。

報道関係者の受付にビブスを返却した際、「いつも息子がお世話になっています。航の母です。『はばたけ』楽しく読んでます」と元気よく話し掛けられた。マネジャーになってもうすぐ2年になるが、初めて航選手のお母様にお会いできた。見た目や話し方から「なるほど、確かに航の母ちゃんだなあ…」とほほ笑ましく思った。

その時、近くにいた女性ファンから選手へのプレゼントを託されて聞いた話によると、試合中に負傷した中島健太選手を見て、その女性は泣いたそうだ。「選手たちは幸せだ。私がケガをしても誰が泣いてくれるだろうか…」とロジャーズ海選手に話したら、「竹田さんが捻挫したら、僕は笑ってあげます」と笑顔で言われた。たぶん私も幸せ者だ。

（JT広島マネジャー）



大分三好戦の勝利後に記念撮影。おどける選手も（14日）